

手足口病

症状

- ・コクサッキーウイルスやエンテロウイルス感染により、手のひら、足のうら、口の中（他におしり、ひざ、ひじなど）に数mmの水ぶくれや、紅色の発疹が出現する病気です。
- ・夏季に乳幼児の間で流行することが多く、潜伏期間は2～7日程度です。
- ・通常発熱はありませんが、時に高熱を伴うこともあります。
- ・手足の発疹は痛みませんが口内炎は痛みを伴い、食べられなくなることがあります。
- ・数日程度で水疱は吸収され、自然に軽快することが多い病気です。
- ・周囲の流行状況と症状から、診断は容易にできます。

治療

- ・症状を和らげる治療が中心となります（解熱薬、口内炎に対する軟膏、水分が取れない時の輸液など）。

家庭で注意すること

- ・水分を中心に刺激の少ない、柔らかな食べ物を少しずつ、根気強く与えてください。
- ・熱がなく元気であれば入浴は可能です。

登園・登校のめやす

- ・法律で定められた通園・登校禁止基準はありません。
- ・熱が下がって元気になれば通園・登校は可能です。
- ・通園・登校許可証提出に関しましては、地域や学校ごとの基準に従って対応してください。

急患診療センターを受診するめやす

- ・口内炎の痛みのため水分摂取ができない、高熱が続くなどで元気がないとき。
- ・髄膜炎の症状（高熱、頭痛、嘔吐）を認めるとき。

救急車を呼ぶめやす

- ・けいれんや、意識状態の低下（呼びかけに対する反応が不良）を認めたとき。

新潟市急患診療センター（電話025-246-1199）
<http://www.niigata-er.org>